＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
駅前広場冷却ミスト事業

1 事業概要

【目的】
熊谷駅南口の冷却ミストの機器を更新します。

【内容】
暑いまちをクールダウンする取組の一つとして、夏の風物詩にもなっている熊谷駅及び籠原駅前広場の冷却ミストのうち、老朽化した熊谷駅南口の機器を更新します。

【影響・効果】
冷却ミストは、毎年暑い時期になるとニュース番組等で取り上げられ、暑いまちをクールダウンする取組の一つとして夏の風物詩にもなっています。しかし、機器の老朽化により稼働中の故障も起きています。機器を更新することで、熊谷の暑さ対策のアピールと、駅利用客への涼しさの提供を切れ目なく行うことができます。

2 特徴やPRポイント

熊谷駅は、毎日多くの利用客があります。また、近年頻発する猛暑により、暑いまち、暑さ対策のまちとして有名な熊谷への注目度はますます高くなると考えられます。
冷却ミスト装置を安定的に稼働させることは、熊谷の暑さ対策のアピールと、利用客への涼しさの提供につながります。

3 その他

冷却ミストは平成２０年、熊谷駅正面口駅前広場、東口、南口に設置。
令和元年に正面口駅前広場のミストを改修し、正面口県道側に追加で設置しました。
・稼働条件　気温２８℃以上、湿度７５％未満、風速３ｍ未満、降雨なし。
・運転期間　5/1～10/31

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　村上
連絡先　TEL 048-536-1547　　内線　206

＜速報＞
令和6年度当初予算（案）概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
電気自動車等充電設備普及事業

1 事業概要

【目的】
電気自動車（ＥＶ）やプラグインハイブリッド車（ＰＨＶ）充電設備の設置を促進し、ＥＶやＰＨＶの更なる普及を目指します。

【内容】
次世代自動車振興センターの補助金（以下、ＮｅＶ補助金）を受けて設置した充電設備を補助対象とします。
補助金額は、補助対象経費からＮｅＶ補助金を控除した金額の２分の１とし、上限は３０万円です。

【影響】
ＮｅＶ補助金に上乗せし補助金を交付することで、設置者の費用負担を軽減します。

【効果】
温室効果ガスの排出削減につながります。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
「商業施設及び宿泊施設等への充電設備設置事業（目的地充電）」及び、「マンション、月極駐車場及び事務所・工場等への充電設備設置事業（基礎充電）」を補助対象としています。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　大澤
連絡先　℡　048-536-1547　　内線　206

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
省エネ家電普及促進事業

1 事業概要

【目的】
市民に対して省エネ機器の導入を促すことで本市の脱炭素化を促進するため、対象機器の導入について支援します。

【内容】
市内の店舗で省エネ性能の多段階評価点が☆3.0以上の省エネ家電（エアコン、冷蔵庫、冷凍庫）を購入した方に補助金１万円を支給します。

【効果】
機器の購入を市内店舗・事業者に限ることで、地域経済の活性化に繋げます。また、省エネ機器の導入を促すことで本市の脱炭素化を促進します。

2 特徴やPRポイント

【省エネエアコン】
約20年前のエアコン（7～10畳用）を省エネエアコン（統一省エネルギーラベル☆3.0、7～10畳用）へ入れ替えた場合、年間消費電力量301kWh削減、年間電気代9,330円削減（31円/kWhで試算）、年間CO2排出量137kg削減が期待でき、これは1年間にスギの木が吸収するCO2量に換算すると9.8本分になります。

【省エネ冷蔵庫】
約20年前の冷蔵庫（451～500リットル）を省エネエアコン（統一省エネルギーラベル☆3.5、451～500リットル）へ入れ替えた場合、年間消費電力量485kWh削減、年間電気代15,030円削減（31円/kWhで試算）、年間CO2排出量214kg削減が期待でき、これは1年間にスギの木が吸収するCO2量に換算すると24.3本分になります。

3 その他

令和５年４月から施行していた省エネエアコンの補助金と令和５年１０月から施行していた冷蔵庫・冷凍庫の補助金を一本化しました。

※ 資料の有無（　有　・　○無　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　清水
連絡先　℡　048-536-1547　　内線　207

＜速報＞
令和6年度当初予算(案)概要
令和6年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
暑さ対策スマートパッケージ事業

1 事業概要

【目的】
市民や来訪者が夏の暑さの中でも快適に過ごせるよう、風・温熱環境の可視化やまちなかの涼める場所となるクールシェアスポットの利用促進を行い、暑い場所の回避や涼しい場所へ誘導します。
※まちなかとは、熊谷駅周囲２km四方の範囲のことを指しています。

【内容】
市公式LINE「クマぶら」で発信する内容は以下のとおりです。
・まちなかの気象シミュレーションの結果をスマホで表示します。
・まちなかの暑い場所（以下「ヒートエリア」という）にあるクールシェアスポットを優先的に表示し、利用に応じてコミュニティポイント「クマポ」を付与します。特に暑くなるエリアでは、ポイントの優遇付与を実施します。
・まちなかにある道路の相対的温度を可視化します。

【影響】
まちなかの暑さの可視化等で暑い環境の把握をすることで、市民や来訪者の行動変容を促し、夏の暑いまちなかでも、快適に過ごすことが可能となります。

【効果】
・行動変容による暑さ対策
・行動変容によるまちなか活性
・「クマぶら」の利用促進
・暑さ×デジタル化の発信

2 特徴やPRポイント

まちの暑さ状況を知ることで、目的地までより涼しい道の選定やヒートエリアではクールシェアスポット利用に繋がり、人の行動変容を引き起こし、暑さの中でも快適に過ごせます。
市公式LINE「クマぶら」で発信することで、より広い範囲に周知を行うことが可能となります。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　青木
連絡先　TEL 048-536-1547　　内線　207